

防災フォーラム

これからの水害にどう備えるか



入場無料
定員
150名

甚大な被害をもたらした福井豪雨から5年が経過し、足羽川の激甚災害対策特別緊急事業も竣工を迎えました。しかしながら、近年の局所的な集中豪雨の増加など、水害の形態はより複雑になってきています。福井豪雨という水害の経験を風化させず今後もさらに水害に強い県土・県民を目指していくために、平常時の危機管理意識をいかに保ち、水害に備え何をしておくべきか、専門家を交え一緒に考えていきましょう。



日時

平成21年11月28日(土)

13:30~16:30 13:00より開場

会場

福井市防災センター

福井市和田東2丁目2207

会場ご案内図



■プログラム (開会までは福井豪雨を振り返るビデオ上映)

13:30 挨拶 福井県知事

13:40 [基調講演] 過去の水害に学ぶ

京都大学防災研究所 教授 中川 一 氏

14:30 [報告] 足羽川激特事業について

福井県土木部河川課長

14:50 休憩

15:00 パネルディスカッション

これからの水害にどう備えるか

◎パネリスト

有塚 達郎 氏 (NPO法人ドラゴンハブ-交流会理事長)

上村 信男 氏 (福井地方気象台長)

敦賀 啓二 氏 (福井県安全環境部危機対策幹)

細川かをり 氏 (NPO法人ふくい災害ボランティアネット副理事長)

◎コメントーター

中川 一 氏 (京都大学防災研究所教授)

◎コーディネーター

北島 三男 氏 (福井新聞社論説委員長)

主催: 福井県

共催: 福井市、足羽川治水対策協議会

後援(予定): 国土交通省近畿地方整備局、福井県市長会、福井県町村会、九頭竜川再改修促進期成同盟会

日野川水系改修促進期成同盟会、九頭竜川水系足羽川流域治水協議会、(財)福井県建設技術協会

(社)日本災害情報学会、(社)土木学会

基調講演

『過去の水害に学ぶ』



京都大学防災研究所附属流域災害研究センター センター長・教授
なかがわ はじめ

中川 一 氏

主な学歴・職歴 1979年 京都大学大学院工学研究科修士課程修了
1981年 京都大学防災研究所砂防研究部助手
1990年 同研究所耐水システム研究部門助教授
2001年 同研究所附属災害観測実験センター教授
2007年~2008年 同研究所副所長

専門分野 水災害および土砂災害の発生メカニズムの解明と被害の防止・軽減方策の構築に関する研究、河川の流砂環境の改善に関する研究など

パネルディスカッション

『これからの水害にどう備えるか』

●パネリスト

- 福井豪雨体験者 有塚 達郎 氏 (NPO 法人ドラゴンリバー交流会理事長)
- 気象専門家 上村 信男 氏 (福井地方気象台長)
- 行政機関の防災担当 敦賀 啓二 氏 (福井県安全環境部危機対策幹)
- 支援・ボランティア関係者 細川かをり 氏 (NPO 法人ふくい災害ボランティアネット副理事長)

●コメンテーター

中川 一 氏 (京都大学防災研究所教授)

●コーディネーター

北島 三男 氏 (福井新聞社論説委員長)

足羽川河川激甚災害対策特別緊急事業が竣工しました！

福井豪雨の再度災害防止を目的とした対策と合わせて環境整備を実施しました。

- 事業期間 平成16年度～平成21年度
- 事業延長 6.0km(日野川合流点～板垣橋付近)
- 事業主体 福井県